

ZOOM自主上映会のご案内

誰もがみんな輝いている！

すべての命に「愛」をそそぐ真実の物語



の奇跡

～本当のことだから～

山元加津子さんメッセージ

「自分のことを、自分の体ごと抱きしめるように好きでいられたら、やっぱり相手の人のことも、同じように大事、大好きって思えるんじゃないかな。」



石川県で、養護学校の先生をしている“かっこちゃん”こと、山元加津子さん。学校の子供達との純粋で心温まる触れあいを語る彼女の講演は、私達、人間の目には見えない「大きな力」や「生かされている命」にまで触れ、聞く人の魂を大きく揺さぶります。子供達との触れあいを通じて病気や障害の意味も“考古学”や“科学”で理解できるという事、病気や障害そのものに意味がある事、「生かされている命」人生の困難や障害を宝に変え生きる人々が描くドキュメンタリー。

上映時間1時間40分

光彩の奇跡



寺田のり子さんはさまざまな苦難を乗り越え、カラーセラピストとして大成功を収めます。しかしその彼女を癌が襲います。それ以降「人を癒すこと」をテーマに、画家の天使河原紫翠さんと共にヒーリングアートを制作し、癌を克服しました。そんな時、今度はのり子さんを糖尿病が襲います。片目を失明し、宣告された余命はあと5年。

残された命も1年半となった頃、体調が悪化し、生きる希望も気力失いかけたとき、山元加津子さんの講演会に参加。そこで重い障害で亡くなった少女・雪絵ちゃんの詩「ありがとう」に出会います。

努力して切り開いてきた人生。身体に鞭打ち、頑張り続けてきた自分。「私は自分に対しての感謝が足りなかった・・・」。この詩に出会って。寺田さんは「生かされている命」の尊さに気づきます。

上映時間1時間26分

【映画の広がり】

入江富美子監督作品は、日本をはじめ、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、ルーマニア語字幕など各国の言語で上映していただいています。

1/4の奇跡～本当のことだから～

映像では世界屈指のコロンビア大学で上映されたこの映画の放つメッセージは、日本全国から世界各地へ！観客動員数は18万を超え、2007年の初上映から今も色あせることなく、多くの人の想いをのせながら拡がり続けている。

光彩～ひかり～の奇跡

ロサンゼルス・ジャパンフィルムフェスティバルで上映されたこの映画は、1/4の奇跡と共にアメリカのTVでも放映され、映画のエンディング曲はロスのTV番組のエンディングテーマにも採用された。2015年にリニューアルし、更に多くの人を勇気づけている。



入江富美子監督

開催日時2021年

★ご自宅でお好きな時間帯ZOOMにてご覧いただけます。

3月21日(日) 10時～

3月25日(木) 14時～

3月27日(土) 20時～

主催：NPO法人コミュニティケア・ライフ

助成：日本財団